第186号

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館

毎月1回15日
定価1部 5円

なかさと

1月1日現在

人口	7,584(＋1)
男	3,749(　0)
女	3,835(＋1)
世帯数	1,712(－3)

カッコ内は前月との比較

新年の御挨拶

中里村長　藤田五郎

明けましてお目出度う御座います。旧年中は皆様の御理解と御協力と和合のお蔭をもちまして、多くの問題を逐次片づけて参りました。

新年というものは、何となく目出度いものという既成の概念で、何が目出度いのか、只何となく目出度がるという厳然たる約束に縛られて、言動のすべてが目出度いということを基調にするようであります。

私は村長就任満二ケ年を経過しました。何のとりえもない私ですが、体だけは丈夫で、就任以来一日も休ます動めていますので御安心願います。昨年も無理を承知で村民の皆様にも、役場職員にも、ガムシャラな努力をお願いし、皆様がよくこの無理を我慢して、非常なる成績をあげて下さったことに、深くお礼申しげます。これも偏に、愛村の念にほかならぬので御座いますのでおゆるしを願います。一歩一歩村勢が発展するよう本年も皆様共々頑張って行き度いと念じています。

お約束の一一七号線の道路改良も、舗装ものげの坂上迄完成し、のげの坂の未舗装の場所も舗装されましたので、一一七号線で未舗装のところは中里村だけという悪評も、やっと返上出来ました。

高田松之山六日町線も、突貫工事で工事が継続されており、後三年間位で万年橋迄道路改良舗装が終るものと思われます。

宮中橋も四十九年度迄に竣工を目標に工事が開始されました。旧羽倉線も主要地方道に昇格し、昨年は新屋敷、本屋敷地区が舗装され、堀之内に流雪道路も施工され、本年は引続き残った部分が舗装される予定であります。

流雪道路は高田松之山六日町線の小原地区にも施工されましたし、この路線の田中から小原間も舗装がなされました。又田代越後田沢停車場線も県道の為巾は狭いながらも芋川から倉俣本村迄舗装され、待望のヘッツリの道路も着工しましたが、生憎保安林解除に手間取った為工事も思うにまかせませんでしたが、本年からは工事量も増嵩する予定であります。

赤字廃止バス路線の十日町宮中線、田代線、小出線も、練習続行中のところ本年も運転される予定であります。

村道も随所に新規、継続を施工致しました。開拓道路、林道谷止工等も、倉俣、角間、清田山、上倉等々に施工し、水道工事も清田山、市之越に完成致しました。

教育面では巨野小中学校プールの仕上げ工事が完了、日尻中学校に待望久しかったステージが完成、高道山小学校教員住宅の新築、田沢小学校体育館の床張り替え、屋根ふき替え、その他各小中学校の環境整備を行いました。

又廃止が予告されていた倉俣駐在所は、十日町警察署に存置方強く要望中のところ、新築されて存置されたことは感謝にたえません。

過疎問題、広域市町村圏対策農政転換に処して桑園造成や第二次構造改善を始めとする諸施策も、着々と軌道に乗りつつあります。

老人対策、身障者対策、社会福祉の拡大強化、文化施設の整備、特に倉俣に生活改善センターを設置致しました。

国民健康保険の運営も、医療費の値上げを目前にして、受診率も亦増加していますが、相互扶助の精神に基づき、御協力願きたいと思います。四十六年度は八才以上九割、七才以上八割給付が、四十七年度には、私の予言通り国で七才以上全額給付の姿勢が示され始めています。その他公害、環境対策等多くの悩みを抱えていますが、ゴミ処理場も本年雪消え時から使用出来るよう、工事進行中であります。

除雪につきましては就任以来重点的に実施して参りましたが本年は雪上車を一台増加しました。又就任以来要望していた除雪ステーションを、昨年末設置して頂き、現在県のブルドーザーとその要員が常駐しています。一方駒通りに消雪パイプを施設して喜ばれていますが、本年も山崎、荒屋附近に設置を要望してあります。

特筆事項として湯沢に新幹線が停車することに決定したのでこれが完成にタイミングを合わせ、十二峠のトンネル開鑿と国道昇格を目標に陳情中であります。

苗場山麓開拓パイロット事業も調査が続行される予定であり魚沼スカイラインも十二峠附近に向けて工事が施工されています。

その他の事業につきましては紙上から割愛させて頂きますが不況の長期化が予想されている現在、勤労の精神によって現在の窮地を脱する努力をせねばなりません。エコノミックアニマルという批評も日本人の民族性として、誇りとすべきでもあろうかと思われます。

ロングフェローの有名な詩「人生讃歌」の一部に「起てよともがら働けよ」の一言があります。この句こそ総ての人生問題経済問題を解決する鍵であります。起つ、そして働く、この勇気のある者の前には、不平も煩悶も貧苦もすべて霧散霧消すること必定であります。

終りにのぞみ皆様の御健康と御多幸をお祈り致しまして、年頭の御挨拶と致します。

〈おしらせ〉
新春娯楽大会
1月23日　中里村公民館で

① 日時　一月二十三日（日）中里村恒例の新春娯楽大会を左記のとおり行ないます。どなたもふるって参加してください。

記

② 場所　中里村公民館。田沢来る一月二十三日（日）午前九時三十分より

③ 種目　囲碁、将棋、麻雀、百人一首

④ 参加料　参百円

⑤ その他　各種目別に一位より三位まで、賞状を呈します。なお、百人一首は田沢小学校家庭室で行ないます。なお、囲碁の部は、A級・B級にわけて行ないます。

晴れ着のしまい方

お正月の晴れ着は、よごれを完全にとってからしまいましょう。めったに着ないものだけに、ときどきじゅうぶん点検してシミがついていたら手入れしましょう。

◎みかん汁、ビール、酒などのよごれは、タオルをかたく絞り、よごれの上をたたいて下さい。そのあと自然にかわかす事、アイロンをかけると、かえってあとがのこります。

◎しょう油、ソースのシミ口をきれいにしてからでとるのが一番。二、三回吸い、かた

（一面下段に続く）

新年にあたって
中里村青年会

中里村のみなさん、中里村青年会会員のみなさん、一九七二年の新しい年は明けました。心から明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、田の「ヒラ」から雑草が顔を見せたり、近くの山々が黒々とその山肌を見せて、もうすぐ春がくるのではないかと思われるような日々を過しました。青年会も今年は、早い春風に乗ってどこからともなく肌に触れる白い純粋な〝こぶし〟の花の匂いのように、柔らかく暖かな新風を中里に漂うごとく送って行きたいと思っています。

昨年四月に新執行部が生れて以来、早くも九ケ月がたちました。思い出は季節はずれの走馬灯のごとく、目くるめくように来ては去り去っては来ます。

「中里村を考える会」で、婦人会や老人会との話し合いの中で、婦人の持つ誠実さと大きな組織力に心を打たれた日々、老人の豊かな経験を正しく継承して行かねばならないと語り合った日々、そして何よりも会員が相互援助しあいながらの個性と口と手と足……そのエネルギーがぶつかり合った日々こうした中で着実に青年会は会員と青年、村の皆さんの中に大きな鼓動を打ちつづけてきました。

外に向っては、朝日新聞をはじめ地方新聞で青年会活動を紹介され、又県のリーダー研修会で活動内容の発表をするなどしました。一連した活動の中に於いても、社会の役に立ちたいと交通遺児の就学資金を、会員や村民有志に働きかけ寄附を行ない豆県知事より感謝文をいただきました。

新しい太陽はのぼる。一年間の種々の取り組みの中で各サークルの中で、そして会員と青年の中で総括された教訓をエネルギーとして今年は躍動する青年会を村民各位と青年達で作り上げてゆきたいと思っています。

二度と同じ太陽はのぼることはできません。青年と村民各位の力で中里に未来をきりひらいて行きたいと思っています。

私達は「青年相互の親睦をはかり、自主的な活動により文化的なる理想郷土の建設に寄与すると共に、青年の社会的地位の向上を期する」を目的として掲げ活動してきました。この目的を達成するため、私達がもっとも大切にしているのは自主的で民主的な活動です。個々の会員や青年の自主的な活動こそが、正しく保つための血は青年会内部での徹底した民主々義の尊重です。要するに討議を尽し、一人一人が意見を出し合っていく、そして無理な決定はさけるが、只決定されたら、みんなの条件を出し合って力を合わせてやりとげていこうということです。

私達は昨年は、それを自分達の能力の限りを出して守ってきたつもりですし、今年もこのことは大事にしていかなければならないと考えています。

青年会活動は、誰が何といおうと私達が何といおうと地域社会から離れてしまった活動を行なったなら、青年達からさえも見放されてしまうでしょう。その意味で私達は自分達の仕事を生活を大事にし活動においても青年らしい節度と規律をもってやらなければならないと思っています。反面、青年が中里の未来であり、地域社会の将来の主人公であることを充分に考え村民の皆様の心からの御支援をお願いしたいと思います。

私達は青年です。それは時として村の皆さんの眼から見たならば行き過ぎに見えることもあると思います。その時は愛情に満ちた批判をお願いします。私達はそれを謙虚に受けとめ、活動の改善に役立てたいと思います。季節はずれの古い走馬灯の炎を、苗場おろしの前にかかげよ！　青年よ太い芯を作れ！決して消えない青年の炎を全身に燃やせ!!

新刊図書紹介

今月新しく購入いたしました新刊図書を紹介します。

○いるかの学校　著者　阿川弘之
○一二五才への挑戦　著者　小野三嗣
○いま何を読むか　著者　森秀人
○心で語ろう　著者　鈴木健二
○ママ、テレビを消して　著者　平沢正夫
○商魂　著者　梅林貴久生
○学校なんか知るもんか　著者　深沢一夫
○兄る眼、考える心　著者　串田孫一
○愛と死の手紙　著訳　杉山毅
○おやじとむすこ　著者　中川正文
○どっこいショ　著者　遠藤南作
○空手三四郎　著者　陣出達朗
○管理者よ若者を生かせ　著訳　村上元彦

ありがとう

フォークダンスの曲に「ありがとうの歌」という曲がある。青年たちが好んで踊る曲である。これは曲目がよいわけでなく、リズムがとりやすいことと現代風の踊り方であることがうけている原因である。

フォークダンスの「ありがとう」がうけているのに対して、言葉の「ありがとう」がさっぱり聞かれなくなったことに疑問を覚えるのは私だけではないと思う。このことについて、先日都市青年の家の宿直をしていたときである。あるサークルの広報係の青年がやってきて、「文集を発行する日がきたが、さっぱり原稿が集まらないから、一千字ほどの文章を書いてほしい」と頼みこんできた。そこで急ぎの仕事もやめて、「でんわ」と題する小文を書いてやった。

三月にも十市の青年が電話を利用が終わって帰る時に「はいってよこさなかった。私は、ただ利用されたにすぎなかったのである。

ついこの間、青年団のリーダーが「市町村からの補助金は、俺らが使ってやっているのだ……」と大きな態度でいたが、こ言葉「ありがとう」が「市町村からの補助金は、俺らが使ってやっているのだ……」と大きな態度でいたが、こ

主事　粕川正之

人生往来

◎産声

氏名	父の名	部落
樋口みゆき	義一	下清
山田秀子	虎利	東田尻
太島久美子	巌	上山
関根雅子	隆光	田沢
河内浩幸	千明	山崎
藤ノ木美妃	充	小出

◎高砂

新郎高橋英治（二九）荒屋
新婦古川純子（二四）新潟市
新郎阪訪部正光（二三）小千谷
新婦阿部寿（二二）高道山
新郎阿部進（二八）山形県
新婦広田君代（二八）田中
新郎柳和夫（二七）十日町市
新婦上原竹子（二四）通り山
新郎村山良早（三七）東田沢
新婦福崎チヨ（二五）津南町
新郎玉木満（二九）新潟市
新婦広田ツネ子（二二）小原
新郎蕪木淳一（三九）荒屋
新婦宮沢スミ子（三三）荒屋

◎昇天

氏名	年令	部落
村山武治	（二一）	田沢
山本サダ	（八一）	篠沢
南雲栄吉	（七七）	田中
南雲セツ	（六二）	堀之内

年頭のご挨拶

村議会議長　上村賢造

明けましてお目出度うございます。皆様お揃いにて元気に迎春のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中に種々ご指導をいただきまして、厚くお礼を申し上げますとともに本年も格別のご愛顧の程をお願いいたします。

地域の産業経済文化の発展には、道路の改良整備が必要不可欠の要諦であることは衆知の通りでありますが、最近のわが中里村の道路行政はまことに寒蟬らしいものであり、躍進中里村の面目躍如たるものがあり、同慶に堪えません。今後とも更に村当局とともに村の発展に努力してまいりたいものと考えております。国道一一七号線は田沢如来寺地内とも完全に改良舗装され残された問題は、芋沢地内の立体交叉の実施と消雪パイプの布設に期待するところであり高田松之山六日町線に至っても山崎・程島間が新に改修され近年中には全線開通の運びとなることが期待されており、一方宮中峠も遂に着工の運びとなり昭和四十九年度には完成の見込みとなりました。又倉俣方面への雛形連称ヘッツリも昨年より着工され近年中にこの難所も解消できることとよろこんでおります。このようにして村内の幹線が――中里村は道路行政が十年遅れていたという陸口を返上して――着々と改良され、従って他の枝線も逐次改良整備され道路関係は年々重ねずして大きく好転するものと確信し村民皆さんとともによろこびに堪えないところであります。しかし冬期間の交通確保については依然として多くの問題があり一朝一夕には解決することは容易ではないと考えます。雪の中で生れ雪の中で育った私共にしてもやはり雪中は憂鬱であり、来る年も来る年も、これこそ十年一日の如き生活では、若者ならずとも、消雪期の感も宣べなるかなであります。しかし本年は駅通りに消雪パイプが村内で始めて布設され立派な成果を挙げ長岡市、十日町市に次いで雪国の道路確保に威力を発揮して沿線住民の恩恵は計りしれないものがあります。他の路線についても逐次これが布設されるよう希つております。他にブルドーザーによる除雪、雪上車による圧雪などによって冬の道路を確保し住民生活の向上努めている村当局の苦労については感謝に堪えません。村政の運営については道路の問題だけではなく農政の問題、医療の問題教育の問題等多岐に立っておりますが、教育の問題についてみましても、教育予算は村財政の中で大きな比重を占めており、ことに交通事情が悪化する冬期間には効率的な学校運営ができない現状であり せめて中学校は村内一校とし内容のより充実した施設々備として教育こそ村百年の大計といっても過言ではなく将来を背負う若者に実力と自信をうえつけてあげたいと考えております。

以上無辞でありますが、新年に当たり施行された、改正道路交通法には、

○歩行者への側方通過時の安全間隔の保持又は徐行

○横断歩道接近時の安全速度の励行

○混雑交差点等への進入禁止

○急ブレーキの禁止

など、特に冬期間守っていただかなければならない改正がされて居ります。交通事故を守るためにお互いに注意し、協力致しましょう。

ムまでは、五〇グラムごとに――一五円増

二〇〇グラムをこえ五〇〇グラムまでは、一〇〇グラムごとに――二〇円増

五〇〇グラムをこえ一キログラムまで――一五〇円

一キログラムをこえ二キログラムまで――七〇〇円

二キログラムをこえ四キログラムまでは、一キログラムごとに――五〇〇円増

○ミニレター（郵便書簡）――二〇円

○通常はがき――一〇円

○往復はがき――二〇円

明けましてお目出度うございます。

旧年中は種々ご指導をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

雪のない正月

異常気象で明けた七十二年
雪国らしくない正月
雪駄で年始廻りか
庭が元朝に快く響く

初雪の残骸は色あせ
山の稜線をぼかす
国道も県道も
車が疾走する

雪おろしも
道路みもなく
玄関に忘れられたカンジキ
痛かしい太陽が大地に向って
金色の矢を放つ

冬期間の交通事故防止

十日町警察署

県下では、最近とくに死亡事故が激増して居りますが、これらの内容を分析してみると悪天候や、寒さ、降雪などで道路が凍結したり、視野、視界が妨げられたり、身体のこなしが悪くなったりなどいわば冬型の事故となって居ります。

今後もこれ等条件の変化に伴い益々この種の事故が発生する危険性が内包されて居りますので住民、協会員、事業所など、次の運動が徹底されますようにお願いいたします。

▽運転者の冬期間スピード一割ダウンの運動

▽冬期間、特に悪天候時、夜間の自転車、バイクの使用、自粛の運動

▽歩行者の車が停止してからの安全を横断の運動

なお、昭和四十六年十二月一

2月1日から 手紙、ハガキの料金が変ります

二月一日から、手紙やはがきの郵便料金が変ります。

現在、発売しているはがき（第一種）ミニレター（郵便書簡）は、二月一日以降でも使用できますが、その場合、新料金に比べて不足する額の切手をはっていただくことになります。

一度にたくさんの切手やはがきを、お求めになる方は、改正までの使用見込みをご検討下さい。

○第一種、定形郵便物

二五グラムまで――一〇円

五〇〇〃――一五円

○第二種、定形外郵便物

五〇グラムまで――四〇円

五〇グラムをこえ、一〇〇グラ

（二面下段より続き）

く絞ったタオルでたたきます

◎泥はね

新しい消しゴムで軽く何回でもふきます。決して湿った布でふかないこと。

◎他にいろいろな薬品を使うものがありますが薬品は着物をだめにしたり、手をあらすようなことがあります。

の精神をもって本年も終始一貫するとともに村民皆さんのご多幸を念じつつ年賀のご挨拶といたします。

◎児童手当認定請求を早めにして下さい。
十八才未満の児童が三人以上で三子が五才未満の方が該当です。

明るい家庭づくり 標語入選発表

中里村青少年問題協議会では村内の各小中学校の生徒を対象に、明るい家庭づくりの標語の募集を行い、二百三点にのぼる作品を、去る十二月十四日、役場において選考会を開き、特選二点、入選十二点、佳作六点の計二十点を選出しました。

なお、入選作品はつぎのとおりです。

△特選　田沢小五年　江口文子

○やさしい母さんみんなのアイドル

〃　貝野小六年南雲百合子

○母さんの笑顔がさそう明るい家庭

△入選　田沢小四年　中島由美

○明るい家庭、歌と笑いの花がさく

〃　田沢小五年　鈴木孝子

○ごはんどきいつももちこむたのしい話

〃　高道山小一年山田　勲

○みんななかよくあかるいおうち

〃　高道山小三年樋口正明

○家庭の日、楽しい計画実行する日

〃　高道山小四年渡辺幸一

○信じあえるわがやこそ日本一

〃　清津峡小四年滝沢福一

○家に帰ればえ顔がまってる楽しい家庭

〃　清津峡小五年鈴木秋夫

○たのしみをみんなでふやそう明るい家庭

〃　貝野小四年、吉楽利和

○家中ニコニコ返事がかえる明るい家庭

〃　貝野小四年　藤田満代

○何んでも話せる楽しい家庭

〃　倉俣小五年　鈴木一夫

○健康と笑顔でつくろう豊かな家庭

〃　倉俣中一年　南雲和久

○「ただいま」といえば「おかえり」の声がする明るい家庭

〃　倉俣中二年　高橋公夫

○家族の対話は明るい家庭の基になる

△佳作　田沢小五年　川田泰英

○家庭の日、親子の集り楽しい笑い

〃　田沢小五年根津幸子

○明るい笑顔はわが家の心

〃　田沢小六年　保坂裕子

○一人の笑顔がみんなのしあわせ

〃　貝野小六年井ノ川さとみ

○おとうさんおかあさんみんなそろって楽しい食事

〃　倉俣中二年　島田勝広

○なやみごと何んでも話せる明るい家庭

〃　倉俣中二年　滝沢弘子

○家庭の日のある家はいつも笑顔のえんまん家庭

中里村恒例の年賀交換会が、去る一月一日、役場議場で盛大におこなわれました。例年田沢小学校の体育館で開催されていたのであります が、暖房施設がないことから、前同様の姿勢で、躍進中里村を祈念し、また、近年にない小雪を喜びあって、なごやかな一ひとときを過し散会しました。

剣道初げいこ 昇級審査もかね

田沢小剣道少年団

去る一月三日田沢小学校体育館においておこなわれました。当日は前田沢小学校長、西野政男先生や、藤田博先生ほか、青年剣士の審査のもとに昇級審査が、おこなわれました。審査後は、十日町剣友会の関口文二郎先生、十日町実業高校教諭、野本郁太郎先生などを招き、四十七年のいこはじめが、おこなわれました。六十名近い少年剣士の中には、二、三名の女性剣士の姿もみられ、歯ぎれの良い、裂ぱくの気合と、ともに打ちあっていた姿が印象的でした。

「いこはじめのあとお汁粉でなごやかな一ときを過ごし、今年も元気で、勉強に練習にがんばろうと励ましあっていました。

年賀交換会 盛大におこなわれる

当日は、村長さんはじめ、村議会議長さん、議員さん方、収入役、教育長さんなどの列席を得て、かがやかしい新年を迎え昨年よりも今年、今年よりも来年というように気持をひきしめ、前同様の姿勢で、躍進中里村を祈念し、また、近年にない小雪を喜びあって、なごやかな一ひとときを過し散会しました。

中里文芸 一月投稿

俳句

雪煙り上げあすなろうの青い意　おのえ

志

一村の起伏静かに初日透く　大泉

冬岬洗い流して泣くところ　梢陽

キクノ

みくじ引く若き男女ら顔見合う　露丘

師走の雨護岸工事の石負い婦　深雪

雪かき落ち湯槽に初日溢れしむ　由記

白鍬をけちらす希望の年の明け　時習

端ぱしの女らしさやたたみ縁　未知

三日過ぎてまた出稼ぎの汽車が行く　土牛

げんかんに年賀の雀は受け　芒月

一月～三月いっぱい婦人バレーボールの練習は中止

毎月第一、第三木曜日に婦人バレーボールの練習をやっておりましたが、一月より三月まで練習は休みます。四月から練習を開始いたします。

涼子

白ねずみ一筆書きの年賀状　時習